

開講学科		前橋工科大学 シラバス																																	
科目名	ランドスケープ特論	標準対象年次	選択/必修	科目コード																															
		1, 2年次	選択	33000801																															
担当教員	三島 由樹、板垣 範彦	単位数	学期	曜日	時限																														
		2単位	後期	月曜日	6時限																														
授業の教育目的・目標	<p>目的：環境（特に人間の生活環境）の形成に携わる建設系専門技術者が理解しておくべきランドスケープの基礎的知識、及び計画・設計の方法論について解説する。</p> <p>目標：①都市とランドスケープとの関係を、その歴史的変遷を通じて学ぶことによって、現在の都市空間とランドスケープの位置付けを歴史的視点から理解できるようにする。</p> <p>②現代における日本の都市部のランドスケープデザインの考え方について、複数の代表的事例の現地調査を通じて理解を深める。</p> <p>③自然環境の保全、再生、創出の視点から、生態工学的な技術を含むランドスケープ分野の役割を理解する。</p> <p>④生態工学的な技術を含むランドスケープ分野について、事例解説や現地調査を通じて理解を深める。</p>																																		
学科の学習・教育目標との関係	<p>a. 地域や社会の問題を発見・分析し、建築・都市の観点から改善案を提言できる能力を身につける。</p> <p>b. 自然環境に配慮した構築環境の知識と技術及びそれらを元に計画する能力を身につける。</p> <p>c. 建築・都市の計画・デザインの全貌を把握し、美学、技術開発などの総合的な視点に立って建築・都市をデザインできる能力を身につける。</p> <p>d. QOL (quality of life) 向上に資する構築環境のデザインや社会資産としての構築環境資源の利用についての提案ができる能力を身につける。</p>																																		
キーワード	ランドスケープ、造園、都市計画、環境、デザイン																																		
授業の概要	<p>本授業の前半では、私たちの社会におけるランドスケープデザインの根源的な意義と可能性について考えることを主な目的とし、ランドスケープデザインの理論と実践の変遷、そして今日の社会課題に対するランドスケープデザインを通じた解決へのアプローチについてインテンシブに議論を展開していく。後半では国土全域を扱うランドスケープの中で、自然環境の保全、再生、創出の視点から、生態工学的な技術を含むランドスケープ分野の役割を示し、その課題解決へのアプローチについて議論を展開する。</p>																																		
授業の計画	<table border="1"> <tr><td>第1回：</td><td>シラバスの説明、ランドスケープ分野の成立とその背景（三島）</td></tr> <tr><td>第2回：</td><td>近代以前のランドスケープデザイン（三島）</td></tr> <tr><td>第3回：</td><td>近代のランドスケープデザイン（三島）</td></tr> <tr><td>第4回：</td><td>現代のランドスケープデザインと現在における新しい潮流（三島）</td></tr> <tr><td>第5回：</td><td>東京都心部でのランドスケープデザインフィールドワーク（三島）</td></tr> <tr><td>第6回：</td><td>東京都心部でのランドスケープデザインフィールドワーク（三島）</td></tr> <tr><td>第7回：</td><td>東京都心部でのランドスケープデザインフィールドワーク（三島）</td></tr> <tr><td>第8回：</td><td>自然環境を含めた国土全域でのランドスケープ分野の役割（板垣）</td></tr> <tr><td>第9回：</td><td>生態学的視点及びその応用技術とランドスケープ（板垣）</td></tr> <tr><td>第10回：</td><td>ランドスケープと生態工学の理論・技術と事例1（板垣）</td></tr> <tr><td>第11回：</td><td>ランドスケープと生態工学の理論・技術と事例2（板垣）</td></tr> <tr><td>第12回：</td><td>生態工学を応用したランドスケープデザインのフィールドワーク（板垣）</td></tr> <tr><td>第13回：</td><td>生態工学を応用したランドスケープデザインのフィールドワーク（板垣）</td></tr> <tr><td>第14回：</td><td>生態工学を応用したランドスケープデザインのフィールドワークまとめ（板垣）</td></tr> <tr><td>第15回：</td><td>課題のプレゼンテーションと講評（三島、板垣）</td></tr> </table>					第1回：	シラバスの説明、ランドスケープ分野の成立とその背景（三島）	第2回：	近代以前のランドスケープデザイン（三島）	第3回：	近代のランドスケープデザイン（三島）	第4回：	現代のランドスケープデザインと現在における新しい潮流（三島）	第5回：	東京都心部でのランドスケープデザインフィールドワーク（三島）	第6回：	東京都心部でのランドスケープデザインフィールドワーク（三島）	第7回：	東京都心部でのランドスケープデザインフィールドワーク（三島）	第8回：	自然環境を含めた国土全域でのランドスケープ分野の役割（板垣）	第9回：	生態学的視点及びその応用技術とランドスケープ（板垣）	第10回：	ランドスケープと生態工学の理論・技術と事例1（板垣）	第11回：	ランドスケープと生態工学の理論・技術と事例2（板垣）	第12回：	生態工学を応用したランドスケープデザインのフィールドワーク（板垣）	第13回：	生態工学を応用したランドスケープデザインのフィールドワーク（板垣）	第14回：	生態工学を応用したランドスケープデザインのフィールドワークまとめ（板垣）	第15回：	課題のプレゼンテーションと講評（三島、板垣）
第1回：	シラバスの説明、ランドスケープ分野の成立とその背景（三島）																																		
第2回：	近代以前のランドスケープデザイン（三島）																																		
第3回：	近代のランドスケープデザイン（三島）																																		
第4回：	現代のランドスケープデザインと現在における新しい潮流（三島）																																		
第5回：	東京都心部でのランドスケープデザインフィールドワーク（三島）																																		
第6回：	東京都心部でのランドスケープデザインフィールドワーク（三島）																																		
第7回：	東京都心部でのランドスケープデザインフィールドワーク（三島）																																		
第8回：	自然環境を含めた国土全域でのランドスケープ分野の役割（板垣）																																		
第9回：	生態学的視点及びその応用技術とランドスケープ（板垣）																																		
第10回：	ランドスケープと生態工学の理論・技術と事例1（板垣）																																		
第11回：	ランドスケープと生態工学の理論・技術と事例2（板垣）																																		
第12回：	生態工学を応用したランドスケープデザインのフィールドワーク（板垣）																																		
第13回：	生態工学を応用したランドスケープデザインのフィールドワーク（板垣）																																		
第14回：	生態工学を応用したランドスケープデザインのフィールドワークまとめ（板垣）																																		
第15回：	課題のプレゼンテーションと講評（三島、板垣）																																		
受講条件・関連科目	<p>1. 受講条件：特になし</p> <p>2. 関連科目：特になし</p>																																		
授業方法	<p>3. 講義とフィールドワークを中心とする。</p> <p>4. 配布資料とスライドを主に用いて授業を行う。</p> <p>5. 前半と後半にそれぞれの担当教員によるレポート課題があり、授業の最終回には、担当教員2名に対するプレゼンテーション課題がある。</p>																																		

テキスト・参考書	<p>6. 教科書：特に定めない。</p> <p>7. 参考書：武田史朗、山崎亮、長濱伸貴「テキスト ランドスケープデザインの歴史」学芸出版社 山本紀久「造園植栽術」彰国社 一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟「ランドスケープアーキテクトになる本Ⅰ・Ⅱ」マルモ出版 亀山章「生態工学」朝倉書店 亀山章、倉本 宣・日置 佳之「自然再生：生態工学的アプローチ」ソフトサイエンス社</p>
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート1 (30%)、レポート2 (30%)、プレゼンテーション (40%)
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・講義とレポートがリンクしているので、授業に出席し講義記録を取ることが必須となる。